

別紙 意見交換概要

【財政運営・健全化計画について】

・ 7年間かけて健全化する計画が3年でやったということだが、計画自体が何であったのか。3年でやったということは相当切り詰めたのではないか。留萌市が切り詰めたことによって、例えば、職員の給料をへらしている、そのため商店に行く人が行かなくなったとか、家を建てる予定だったのに建てられなくなったとか、家を建てたけど借金を返せなくなって手放したとかの話も聞いているが、もう少しゆっくりやった方が良かったのではないかと感じる。【港東コミセン】	留萌市では平成12年度から財政健全化の計画を立てて取り組んでおり、その後平成17年度にも計画を立てて、それで推移をしていく予定でしたが、平成20年度から決算の見方が一般会計だけで見る見方から、全会計を合わせてみるということに法律が変わるということで、そのままの推移でいくと留萌市は財政再生団体に転落するという危機的な状況になり、それを解消するために留萌市として改めて現在の健全化計画を立て、最初の3年間は重点の期間として、何とかそこで解消しようという想いの中で健全化計画を進めてきており、その結果、国で定めている健全化団体かどうかという指標の、計算式に基づいた数値が解消したということであります。 歳出の抑制は当初の計画通り進んでおり、また、歳入については国の考え方を含め地方交付税が増えるなどがあり、更には計画に計上していた病院への支援の内で6.6億円を最初に支援したこと、医師の確保などによって病院が計画以上に収支改善が進んだということもあり、当初の計画よりも解消が進んだということでご理解をしていただきたいと思います。 しかし、平成22年度で健全化が全て達成されたということではなく、平成24年度以降もまだ、借金を返す部分だとか不良債務をなくする部分で12.3億円を病院に支援をしていかなければならず、平成27年度まで健全化計画を進めていかなければなりません。 切り詰めたことによって地域経済が非常に厳しくなったのではということについては、計画に定めた部分を着実に実施しており、近年においては借金をする金額を定めながら、一定程度の事業の確保に努めてまいりましたが、国や道における公共事業の見直しなどもあり、この地域においては全体の公共事業がかなり落ち込んだということは事実として受け止めていかなければならないと思っています。
・ これまでも市の職員の給料もあまりにも安いのではということも出ていたが、財政もだんだん良くなっているのだから、あと何年後にどのくらい戻していけるという見通しも出す必要があるのではないか。【港南コミセン】 ・ 職員の皆さんも給料をカットして財政の健全化のために頑張っていると思うが、この5年後の目標に到達したらカットしている部分を復元するということを考えているのか。ぜひ復元してもらいたいと思っている。【共同福祉センター】	職員給与の削減が、地域経済の消費活動に大きなマイナスがあるというご指摘いただいております。しかし、健全化計画では、市民の皆さん方に色々ご苦勞をかけておりますので、見直しにあたっては、市民サービスの戻せる分野、職員の給料にかかわる部分などのバランスをしっかりと取って、全体的に何から優先してどのくらいの部分でどういう形で戻すことができるのかを検討しなければならぬと考えております。いずれにいたしましても、国の財政問題が今後影響いたしますので、市民の皆さんの意見を参考にしながら、議会議論を踏まえ、優先度を考慮しながら、納得していただけるような形で、色々な角度から総合的に判断をしてまいりたいと考えております。
・ 公園のトイレが開いていないので、子どもたちが近所にトイレ貸してということが結構あり、可能であればできるだけ早く開けていただきたい。【港東コミセン】	子どもたちが公園で遊ぶのにトイレがないと、ご不便をかけておりますが、これにつきましても健全化計画の見直しの中で、公園のトイレや管理のあり方についても検討してまいりますので、ご理解をいただきたいと思います。
・ 行政には関係ないが、個人的には市内のアパート、マンションの住居費がすごく高いと感じ、この辺を考えると若い人が留萌に就職しても住めない、来てもらえなくなる。 財政が健全化になったら、例えば留萌に就職して来てもらうのに助成するとか、子どもが生まれたり結婚した時にお祝いを出すとか、若い人に対する支援をやってもらいたい。【港南コミセン】	財政の状況を見て、若者が定住するための住環境の整備も必要であると思いますし、また子育て支援、出産時にお祝い金を出したり町村では色々なアイデアで若者を引き留めようということもやっていますので、財政の状況を見ながら、そのようなアイデアをいただきながら若者定住策などを戦略的に、しっかりと進めなければならぬと思っています。

【市立病院について】

・ これからの市立病院の経営は、健全経営に向かっていくということで理解しているのか。【港南コミセン】	今年度においてもいい方向に進んでおりますが、来年度以降の診療報酬の改定など不確定な部分もあり、これからのいい方向に向かうという約束は難しいのかもしれませんが、そうならないように、今後も経営改善に取り組んでまいります。
・ だんだんと高齢化になっていく中で、市立病院の療養型病床がなくなりリハビリ病床になったという話を聞いたが、療養型は減らしていくのか、それとも増やしていくのか聞きたい。【幌糠コミセン】	療養病床50床を12月1日に回復期リハビリ病床に変更するための準備を進めており、現在、現在療養病床に入っている方の状態よっての移行先の振り分け作業を行っているところであり、療養病床は完全に転化し、回復期リハビリ病床になります。 回復期リハビリ病床は、集中的にリハビリをやることによって自宅で生活することができる患者が、一日でも早く家庭に戻れるように、集中的にリハビリを行います。
・ 市立病院の待ち時間対策でテレビを設置したが、同じ映像ばかりで変化がなく、せつかく流すのであれば、コホートで実施している色々な講演のお知らせや健康づくりの行事などが、いつ、どこでやるのか、また、健康の駅で骨密度だとか体脂肪だとかを無料で測定できることなどを流すことはできないのだろうか。 病院に来ている人は健康のことで色々抱えているのだから、ぜひお願いしたい。【東部コミセン】	待ち時間を、気持ち的に少しでも短くなればということでテレビモニターを設置いたしました。 内容については、設置以前から色々なお知らせなどを流すための準備を進めているところであります。
・ 市立病院が黒字になったと聞いているが、市民で市立病院に入院せずに札幌、旭川の方に入院している人が多いと思うが、なぜそうなるのかを市立病院の方できちんと考えてほしい。【港北コミセン】 ・ 今は羽幌とかが医師不足で留萌に来ているのであって、そこが医師を確保したら市立病院に来なくなる可能性がある。また、留萌を通らないでまっすぐ札幌、旭川に行っている人もいますので、そういう人を市立病院に来てもらう努力もしなければならぬのではないのか。【港北コミセン】 ・ 市立病院がいいということを発信するのは市民の口だと思う。市立病院がいいとなったら、市民はみんな市立病院に行くと思うし、市立病院でダメだと思うから旭川や札幌に行くのであって、市立病院がいいとみんなに発信させるには、やっぱり結果だと思う。【港北コミセン】	以前は脳外科や循環器の先生が揃っていないとか、ドクターがしっかりとした体制ではなかったという点もありますし、また、今まで市政懇談会とかをやると市立病院は信用できないとかの話も直接受けておりましたが、しかし今は笹川院長が医師確保に努め、更には羽幌の病院が医師の確保が困難で、ここ数年は市立病院から羽幌の病院に応援に行き、院長、副院長が週に1回羽幌に行っているという、そういう状況にもなっておりますので、まだまだ医師確保というのは地方にとって難しい時代であります。 現在は、脳外科、循環器含めて、それぞれの先生方が責任を持ってやっておりますので、少しずつ市民の皆さん方への信頼関係、信頼度は高まっていると思っており、ご指摘の点については私も十分承知しておりますので、何とか地元市民に信頼される病院づくり、そして市全体で地域医療を守っていくという想いで、ご理解をいただきたいと思います。
・ 病院の診察を受ける時に、その都度100円とか何がしかの上乗せを、国かどこかが考えているようだが、それについて教えてほしい。【港西コミセン】	来年度の診療報酬改定の中で、必ず初診、再診の時に定額をいただくというようなことが検討されているようではあります。医師会などもそれに対しては反対しているなど、色々な意見も出ているところでもあり、まだ確定というわけではなく、結論が出るまでもうしばらくかかるのではと思われ、現段階ではわからないという状況であります。

【総合計画基本計画の後期計画について】

・ 今後の5年後の目標というのはわかりにくく、懇談会を毎年やっているのだから来年の目標にした方がわかりやすいのかと感じた。【港東コミセン】	総合計画の5年間の目標の関係は、まず基本構想という10カ年があり、基本構想前期5年間、後期5年間という目標を設定しておりますが、毎年度においては、その年度の重点の柱というのを定め、更には事業の部分で毎年度3カ年の計画を決めて、最終的には5年後の目標にいかに向かっていくのかを積み上げながら進めておりますので、ご理解をいただければと思います。
--	---

・ 我々の納めた税金の中でいかに有効に、目標に向かって職員の人たちが努力していくと思うが、学校一つのことを取っても、市の財政側から見てもなかなか予想された通りには進んでいけないのかなと思う。 総合計画の5カ年計画の会合の中でもそのような話も出ているが、総合計画の目標を達成するために収入の面としてどのような見通しを持っているのか。【港西コミセン】	総合計画の中で、実際に市民の満足度を中心にデータを取りながら進めておりますが、経済がどれだけの規模になるのか、それが一番、税収がどうなるかということに繋がりますので、経済を守っていかねばなりません。 現実では、やはり水産加工工業、物を直接生産しているところで税収をあげる方策を考えなければならない点と、もう一つは港をもう少し積極的に利活用していただくということで、成長戦略としては水産加工工業を発展させて、機能性食品を留萌の加工屋さんで加工する、生産することによって企業のレベルアップを図っていくとか、具体的な企業を育てて行く、それが大きな柱になるのではと思っています。 また、一次産業の農業、漁業をしっかり、安定的な所得を得て、後継者が育って行く、そして林業というのが本当に衰退してしまっただので、もう一度しっかりと体制で森づくり、林業の振興策というのも道、国にもお願いをしていきながら、何とか新たな産業として構築していかなければならないと思っておりますし、観光の面でもう少し留萌の交流人口を増やして、そこから税収を上げていけるような仕組みも作っていかねばいけないと思っております。 大きく分けると環境産業、観光産業、そして食品産業から健康産業に変わる、これらの三点の中で企業を発展させていくという、その中で税収を図って経済を回していくという、それで実際に5年後に法人税としてどのくらいの額かという数字については厳しい状況もありますので、私どもとしては努力目標として、市民が生活をしていく中で満足度ということで評価を取り進めて行きたいと考えておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。
・ 除雪の満足度を5年後には40%近く上げる目標になっているが、この5年間で満足度を上げるためにどのような施策を考えているのか、具体的に決まっているようなことがあればお聞きしたい。【港南コミセン】	除雪費を増やしますとか、個々きっちとした具体的な物は決まってはおりませんが、例えば、地域にある空き地を市が借り上げて、そこに町内の方たちが雪を堆積していただくことを一昨年頃から取り組んでおりますが、そのような部分をこれからどんどん膨らましていながら、また、市として除排雪についてきちんとした体制を取りながら進めて行く中で、地域の方のご協力もいただきながら、それぞれの生活の中での雪の不満を少しでも無くしていくような方策を実施してまいりたいと考えております。
・ 現状値と5年後の目標値が設定されているが、健康維持増進の部分では現状値と目標値が大きくかけ離れているので、果たして目標値まで持っていけるのか。 これは目標値なので、そこまで達しないにしてもある程度その辺りまでという根拠に基づいて出されたと思が、自分の町内会でも健康管理に対する意識が薄いのかなと感じていて、この辺りの数値についても根拠というか、もう少し説明をお願いしたい。【東部コミセン】	特定健康診査の受診率の目標値は、国の方が40歳以上の方に毎年、65%までは特定健診を受けていただきたいという目標があり、それに合わせて65%という目標値を設定させていただいているところでありますが、留萌市の国民健康保険の部分についての受診率は、残念ながら非常に低いという状況にあり、私どもといたしましても、様々な形で留萌市民の健康意識の部分を高めていただくための取り組みを進めてまいりたいと思っております。 また、市民満足度を目標値に定めている項目もあり、市民満足度というのは郵送によるアンケートで、春先に1,000名の方を無作為抽出で選ばせていただき、その数値を集計しており、アンケートの取り方としては満足と思っている方と不満だと思っている方、その間にどちらでもないという方がおり、そのような方をいかに満足だと思おう方に持っていきたいという想いを持っており、健康管理の部分では、どちらでもないという方々が健康管理に気を付けているとなった場合の数値を目標値として設定しております。
・ 今後の計画というか見通しの中に商店街に関して一言も書いていないのはなぜか。【共同福祉センター】	施策として現在、商店街対策で色々やっている空き店舗対策の予算などは、23の項目の中の予算としては当然入っておりますが、今回の懇談会では、23項目の取り組みの中で、より多くの市民の皆さん方に全体的に、共通的な部分でピックアップした説明、資料でしたので、当然23の項目は総合計画の中で示しておりますので、その中には商店街の振興策というのも入っているということでご理解をいただきたいと思います。

【小中学校の配置計画について】

・ 留萌小学校と沖見小学校の統廃合の関係で、もうスケジュールは決まっていると思うが、町内会などには事後通知ということになるのか。【港南コミセン】	両校のPTAなど、学校を通じてお集まりいただいて話をさせていただき、通学区域にあたる町内会の会長にも8月末頃に集まっていただき話をさせていただきました。 その中で通学区域の町内会の皆さんにどのような方法でお知らせをしたらよいか話をさせていただき、参加いただいた代表の方からは特段、個別に集まりを持たずに町内回覧などで周知をしてもらえばいいということで、先般、町内回覧としてお願いをしたところであります。
・ 学校の統廃合をすると、地域が不便になるから新しく若い人が地域に来なくなり、年寄りばかりになってしまうと思う。 その辺りも考えて、学校に通うにも不便がないように、街中と一緒にというのは無理だと思うが、若い人でもこの地域で不便がないように配慮してもらいたい。【港北コミセン】	そのような観点からも、地域の方々と統廃合についてお話をさせていただきながら、閉校した後の利活用についても色々な形で地域とお話をして合意を得てまいりたいと考えております。
・ 合意はたぶん得られると思うが、その後のこと。 子どもがいる人はいい場所にどんどん行き、この地域から子どもがいなくなる形になるので、元町、春日、塩見などから街中の学校に通学しやすい環境を作ってほしい。【港北コミセン】	かつては人が増えていったのでそれぞれの地域に学校を作り、そしてその地域を活性化するという流れで来ましたが、今度は少なくなって来た時に学校をそのままということは困難だということは、みんなが理解していただける部分だと思っておりますので、ご指摘にもあったとおり、行政としては地域の皆さん方と、安心して住めるようなまちづくりは考えていかなければならないと考えておりますし、当然どの地域にいても安心のできるようなまちづくりというのを心掛けていかなければならないと思っております。 危惧、心配されていることは私どもも十分承知しておりますので、その中でまた地元の皆さん方と話し合いを進めて、取り組んでまいりたいと思っております。
・ 新しい学校については、耐震性のある学校を活かしていくべきではないかと思うが、どうなのか。【港北コミセン】	留萌小学校、沖見小学校の児童数も当然考えてやらなければなりませんし、耐震性では留萌小学校については緊急を要する部分でありますので、そうすると新たに小学校を立て直しなければならない時には何クラスが理想的なのか、その地域にあってどの程度のクラス数でやるのが良いのかという点も考えていかなければなりません。 私どもは留萌市のまちの全体を考え、地理的な条件、その建物の今すぐの状態、更には5年、10年先の状態を見て総合的な判断をしなければならぬと思っておりますので、人口の動態の中でまちづくりが行われて、色々な施設も変わってきたということで、本当に申し訳ないと思っておりますが、ご理解をお願いしたいと思います。
・ 計画でいくと27年度になると北光中学校、港北小学校がなくなるわけだが、この地域は全ての行事を学校と密接な関係でやってきており、子どもの声が聞こえない地域は非常に寂しく、過疎が加速するようなことになるのではないかと心配をしており、港南中学校との統合はクラス編成のことなど、十分理解はしているが、北光中学校の施設を活かした教育をしてもらえば、この地域としても子どもたちと一緒にの活性化というか元気づいた生活ができていくのではないかと思う。 おそらく将来は統合になるかと思うが、なるべく計画の期間を延長していったいただければと思うわけで、逆に港南中学校からスクールバスで北光中学校に来てもらうという考え方も、地域としては持っているの、その辺りも十分に汲み取って地域の住民のためにも善処していただきたい。【港北コミセン】	この計画を進めるにあたっては、29年度を目途としており、あくまでも目途であって今後については地域と十分話を進めながら協議をして、色々な形での話をさせていただいて、計画を進めてまいりたいと考えております。 子どもたちが学ぶ環境としては1学年2学級、クラス替えができる状況での児童数を学校の中で確保していきたいということを考えており、北光中学校においては1学年学級という教室の規模の建て方をしているので、学級数において困難な部分がありますが、それらも含めた形で、今後十分に皆さんと話をしながら、私どもの基本的な考え方も理解いただきながら協議を進めさせていただきたいと考えております。
・ 廃校された学校の再利用は考えていないのか。【港北コミセン】	間違いなく耐震性がしっかりとしている学校などについては、地域の皆さん方と相談をしていきながら、また、市全体の公の施設で大変老朽化している施設もあるので、そういう施設を現在利用している方について、また新たな形で空いた学校を利用してもらうという、そういうことを皆さん方と十分相談してまいりたいと思っております。

【防災について】

・ここなら大丈夫というハザードマップとか、そういうものを示すのはいつ頃か。【共同福祉センター】 ・地震対策を進めていると聞いているが、どの程度の高さの津波を想定して進めているのか。【港東コミセン】	今回の震災で私どもは多くの教訓を得たものと考えております。中でも、今までは、指定避難所に避難すればある程度安全が確保されるということで考えておりましたが、今後は一次避難、二次避難という避難方法が必要だということです。特に、津波の場合は一次避難でまずは高い所へ、そして、その後に施設に移動する二次避難が重要であるということであります。 ハザードマップについては、北海道で検討しておりますが、太平洋側が優先になるような情報があります。また、海岸の地形に応じて津波の判断も大きく変わることも想定されますので、それらを調整すると、シミュレーション時のデータが今まで以上に必要となり、留萌市を含む日本海側は、今年度の完成は難しく、平成24年度になるのではないかと考えております。 こうしたことから、留萌市としては3.11の規模の地震による想定から、若干小さめな地震で発生する津波の予想を再点検し、津波の高さで言うと、最大で5mくらいの津波で洪水がどのくらい地域で起きるのかを見直しているところであります。また、それに基づいて避難所がどうなるのか、どういう方法で避難をすればいいのか、津波からの一時的な避難場所をどこにすればいいのかなどを検討しており、平成24年度中には皆さんに説明できるように作業を進めております。
・自主防災組織を作ろうと思って準備をしており、この地区は津波が来れば被害が一番大きな地区だと思うが、その場合の避難所は市の方できちんと指示してもらえるのか。【共同福祉センター】	自主防災組織を作る際には、市では規約の雛型などを用意しておりますので、是非活用していただきたいと思います。 津波避難所については、津波のハザードマップなどと共に、平成24年度完成を目指しております地域防災計画の中で整理をしていきたいと考えております。その中では、この地区には丈夫な建物がありますので、一時的な避難場所として利用できないかということも整理をしていきたいと考えております。また、これらが完成をしたときには皆さんに説明することとしております。 それまでに災害が起きたらどう対処するのかとなりますので、市といたしましては、この地域はこれくらいの海拔がありますという表示ですとか、緊急的に逃げる場所として、丈夫な建物の所有者の同意を得て市民の皆さんにお知らせをするというような方法を考えております。
・災害が起きた時に、どのような場合はどこに避難しなさいという部分がピンと来ないので、お聞きしたい。また、幌糠、峠下、藤山の山沿いは個々に山に避難してしまえば大変なことになってしまう場合もあるので、学校とかコミュニティセンターを避難場所として残していったほしいと思う。【幌糠コミセン】	防災計画・避難所の見直しは、幌糠地域ではコミセンや学校を避難場所として指定しており、それを変えていこうというものではありません。しかし、地震が起きたら、とにかく高い所に逃げるということを頭においてくださいと、高い所は一時避難ですよ、そうなる、どこの場所がどのくらいの高さがあるのか、そういうのをできるだけ早く表示をして、皆さん方に早く伝えなければならないと考えております。 最終的には北海道の津波ハザードマップが完成してからになると考えますが、完成を待っていたらいつになるかわからないという想定もありますので、現時点で市としてどこまでの避難体制をとるかという、まずは一時的にどこに避難をするか、その後の状況によってどの避難所に避難するかというのをベースに情報は皆さんに提供してまいりたいと考えております。
・災害発生時の避難場所が潮静小学校になっているが、海拔7～8mほどしかないと聞いたし、住民センターも川の側にあるが、大雨の時にはたして潮静小学校が適切な避難場所なのだろうか。津波が川を上って来た時に潮静住民センターが適切なのだろうかという話が町内会でも出ているが、市での適切な避難場所の確保とか対応を聞きたい。【東部コミセン】	その地域の安心して避難できる高い施設、その近隣に避難所としてふさわしい施設があるのかどうか、私どももその地域の形態を見て、避難施設として津波の場合、留萌川の洪水の場合、大きな地震で何らかの形でダムが決壊というのも想定しなければなりませんので、その場合にはどの高さのどの施設が避難所としていいのか、できれば、市といたしましては年度内に、この地域ではこれだけの高い所が一時避難としての安全な場所ですよという、そういう場所についてはお示しをしてまいりたいと考えております。

・ 津波が来た時の避難場所を早く、地域では民地を借りてやってはいるが冬ではどうしても避難ができないので、冬でも避難できるような場所を設定してほしい。【港北コミセン】	冬期間の避難場所の確保については市全体の問題でもあると考えております。海岸線につきましては避難できる場所、更には避難できそうな場所、ある程度人が溜まれる場所やそこに至る経路について、今、礼受から三泊まで調査をしております。それらの調査結果を踏まえて、冬はどうするかという問題も含め検討してまいりたいと考えております。また、その上でハザードマップの話や、色々な話を含めて地域の皆さんに説明に上がりたいと考えております。
・ 若い人が逃げるには問題はないと思うが、高齢の人の部分も持とうという考えが多いので、遠くまで逃げるというのはかなり難しい部分なのかと思う。 開運町の商店街は海から近いので、高齢の方と一緒に波に飲み込まれることも考えられ、そうなると弱者を切り捨てていくしかないのか、でもそんなことはしたくないという部分で、どのような対応をしていけばよいのかという考え方もあるし、市としてどのような対応をしていただけるのかという部分で少し詳しく教えてほしい。【共同福祉センター】	基本的には、今後の避難としては大きな地震の時には歩いて、弱者と一緒にだて歩いていくのは無理なので、その時は車を利用して高台へ避難し、または、近くにある安全な高い建物への避難になると考えますので、そのためにも民間と協定を結ばなければならぬと考えております。避難ビルの指定にはもう少し時間がかかりますので、まず高台に歩いて何分くらいで行けるのかということ、その地域の皆さんに意識を持ってもらうことを進めていながら、指定をする施設についても地域とのコミュニケーションをとりながら進めてまいりたいと考えております。
・ 連合町内会として色々と自主防災に取り組んできているが、万が一津波が来た場合、連合町内会としても資金不足で TENT などを用意できないので、市としてどの程度の毛布だとか TENT だとかの在庫があるのか気になって、わかる範囲教えていただきたい。【港北コミセン】	毛布などについては指定している避難所や、本町にある市の防災倉庫にも300セットほどを備蓄しており、TENTについては集会用のTENTになりますが、大きなTENT6セットを防災倉庫に保管しているほか、ビニールシートなど様々な物を備蓄しております。 また、日本赤十字の方の備蓄ということで、市の備蓄の他に200セットというのが現状になっております。
・ 万が一の場合の港北小学校の児童の避難について、学校としては現在、まだ市の方からも教育委員会からも計画や指導、指示事項がないので地域の計画に基づいた避難の実施をさせてもらいたいということであった。 市の方では計画中だとは思いますが、方向性について示していただければありがたいが。【港北コミセン】	以前までは港北小学校については津波を想定する場合でも5～6mくらいの津波ということで、学校の2階が7mありますので、そこに避難するという形でやっておりましたが、大きな津波が実際に来たら学校自体が被害に遭うということで、当面、まずは高い所に逃げようということで、港北小学校では一番近郊で高い所というルルモッペ大橋が海拔10mあり、今回の避難訓練ではルルモッペ大橋をまず目指して、子どもたちが実際にどのくらいかかるのかをやってみようということで実施し、児童がそこまで行くのに、だいたい7分くらいで行けましたので、当面の部分についてはルルモッペ大橋を目指し、北光中学校については裏山が50mあるので、そこを目指して防災の日には訓練をし、中学生の足なので、全員が行くのに10分くらいの時間で行けました。 文部科学省の方でも、今回の震災の教訓を受けた、津波を想定したマニュアルを各都道府県を通じ学校の方に指示をするということでありますので、まずはそのマニュアルに従った形での学校での防災訓練なり、津波を対象にした訓練、その計画を立てていこうと、そして地域の皆さんに対しても市の方の防災の中で色々な形の避難先が決まってきますので、それらも含めた形で、最終的には地域の皆さんと学校、子どもたちが一緒に避難できるような状況にしていまいたいと考えております。
・ 5月末に自主防災組織を作ったが、各学校の耐震性が低いので、そうなるとここは港南コミセンか沖見児童センターになるのかなと思うが、耐震性はどうか。 避難所をできるだけ早くはっきりしないと、どこに避難するのか訓練もできないような状況にある。【港南コミセン】 ・ 町内会の防災の連絡網があって、その指定先が沖見小学校になっているが、今後、何かあったら港南コミセンに来ればいいのか。【港南コミセン】	新しい耐震基準は昭和56年以降の建物になりますので、港南コミセンは55年に建てられたので今の耐震基準は満たしておりませんが、沖見児童センターは基準を満たしており、港南中学校の体育館も耐震補強をしております。 これから避難地域については、当然見直しをすることになります。が、沖見小学校の後となると大きな建物では留萌小学校になるかもしれませんが、それ以前では港南中学校になるかもしれませんが、その辺については地域の皆さん方と相談をしながら、市では市内全体の見直し計画もあるので、それらも含めて町内の皆さん方には周知をまいりたいと考えております。
・ 暴風雪波浪警報などが発令されたときには、消防署の方で広報車で回ってはいるが、家に居ると全く聞こえないという実態にあり、せっかく広報するのであれば、広報車のマイクを出力のあるのに交換するなどすれば何とかかなと思うが、きちっと聞こえるような体制で取り組んでほしい。【港南コミセン】	消防車両を使って広報をしていますが、車載の拡声器自体に限界があるということもあり、市の防災行政無線担当部署とも相談をし、整理をまいりたいと考えております。

・ 防災無線も聞こえない。消防車両のマイクも今のであれば限界なのだろうが、車のスピーカーをもう少し大きいのにするだとか、住民はなんとかできるのではないかとと思っているが、どうなのか。【港南コミセン】 ・ サイレンの聞こえ方が場所によっては時間差がある。サイレンでしっかりと全市民に聞こえるようであれば、まずは音を聞いて、テレビやラジオなどから情報を取るということでもいいのかと思うので、しっかりと全市民に聞こえるように取り組んでいただきたい。【港南コミセン】	大事なのは注意報、警報が出ていることをいかに伝えるかということであり、ご指摘のとおり聞こえないということが多く言われておりますし、これは解決しなければならないと思っております。 出力などをアップしても、防災無線などで話すことが本当に皆さんに伝わるのか、逆に、サイレンは相当遠くまで通るようになっているので、例えばサイレンなどで、まず音で情報を提供する、その音で自宅のテレビやラジオを付けるとかすることによって、気象庁とかが発信している警報などを目で見たり音で聞いたりすることが、経費を含めて一番可能ではないかと考えます。例えばサイレンが2回鳴ると注意報が発令されていますよ、3回鳴ると警報ですよとか、音でわかるようなことも検討していかなければならないと思っております。 海岸の地域や部分的にサイレンも聞こえにくい地域があるとするれば、そういう地域とも意見交換をしながら、はっきり情報伝達できる仕組みをみんなで相談しながら進めてまいりたいと考えております。
・ 町内会の高台に高区配水場のタンクがあるが、大きな地震などがあった時にはタンクや配水管などは大丈夫なのか、町内会では心配している。自分たちで防ぐことは困難なので、万が一の時には本当に手で水を止められるのか、少しでも早い対応をお願いしたい。【港南コミセン】 ・ 来年調査をしてということはいいいが、それまで地震がなければ問題は無いが、自主防災組織を作るということは最低、地震が来るということを想定していることであり、家のすぐ横に配水管がある所は万が一の時には財産や命まで危険性があるので、万が一の時は別の配水管に切り替えられるなど、何らかの形で対処をお願いしたい。 また、雨が降ると白い水が溜まる所があり、やはり漏水などを疑ってしまう部分もある。【港南コミセン】	白い水に関しては、水道水かはPHを計ればすぐわかりますので、漏水かどうかすぐ解決しなければならない問題だと思っております。 配水池は実際に耐震化調査をしなければならないということがありますが、もしもの時の体制については、市として配水池にある水の流れをどうするのか、また、地域の皆さんにどのような形で避難していただけるのか、地域の皆さんが手をかけて減災できる部分ではありませんので、高区配水池については市が責任を持って体制を整えるという考えでおります。
・ 前回の市政懇談会の時に高速道路の除雪センターを避難所として、万が一の時に使えないのかということをお話したが、63年の水害の時には幌糠コミセンも学校も水に浸かったので、その辺のことも考えて協定を結ぶなどの検討をお願いしたい。【幌糠コミセン】	63年のことを考えると不安材料があり、今回の大震災でも高速道路が安全だったという部分もありますので、その辺、国とどこまでできるのか防災会議で連絡を取っておりますので、その中で市の方からお願いをしてまいりたいと思います。
・ 学校の耐震調査はしているが、潮静の住民センターの耐震性は大丈夫なのか。【東部コミセン】	平成2年に建設した、新しい耐震の基準を満たしている建物でありますので、ご安心ください。
・ 震災避難者の受け入れで、市住5戸へ9世帯23名とあるが、今はどのような方が何名程なのかなど、差し支えない範囲で教えてほしい。【港東コミセン】	放射能による避難を含め、生まれ故郷が留萌であるとか、留萌に何らかのゆかりがある方、数世帯が現在も避難されております。
・ 先日、リラで消防署による防災訓練があり、道の防災ヘリも来て救難救助をやるなど、これだけ大掛かりな訓練をやっているにも関わらず近隣の町内からは見学に一人も来てなくPR不足だ。 防火防災の高揚のために、意識高揚のために事前に市で各町内会の案内をしてくれたら見学者は増えたのではないかと思います、今後、消防署でこのような計画があるのであれば、消防署と市役所の連携を密にしていきたい。【港東コミセン】	消防署では年に2～3回、地域町内会の協力をいただきながら火災予防の訓練を実施しており、実施場所の町内会や近隣の町内会に文書などをお届けしておりますが、ご指摘のとおり、今後においては広報にも力を入れて一人でも多くの方が見学をしていただき、防災に対する意識啓発を高めていけるよう、広報の手法についても検討をしてまいりたいと思います。

【町内会・ごみ処理について】

・ 町内会の防犯灯のLED化を、残り全部を24年度にLEDに取り換えると聞いているがどうなのか。【港東コミセン】	LED化については基本的に5年間で、町内会の皆さんと相談をしながら進めてまいりたいと思っております。 今回LED化された部分で電灯料がどのような削減がされているのか、それを含めて評価をさせていただきながら、今後4年間で計画的にLED化を進めてまいりたいと考えております。
---	---

・ 除雪の業者が決まった段階で、市と業者と連合町内会も入り協議をしながら取り組んでいるが、今年度の除雪基準について、市の方はどのような考えでいるのか、現状通りなのかをお聞きしたい。【港北コミセン】	市としては、今シーズンにおいては例年通りの出動と考えておりますが、やはり地域、地域の状況が、例えば吹き溜まりだとかが当然あると思いますし、この近年異常気象ということで変わってきているという状況も押えておりますので、「出動基準」の中で異常気象にも対応できるようになっております。
・ クリーンステーションの管理は、ある程度の補修は町内会の経費でやらなければならないのか。【港南コミセン】	基本的には市が管理を行いますが、ペンキ塗りなどについては市の方で用意をし、町内会の皆さんに労力による協力をいただいているなど、引き続き、皆さんに協力をいただきながら管理をしてみたいと考えております。
・ クリーンステーションの適正な管理をするために調査を実施したとなっているが、その調査をした結果の報告が町内会に何もない。実際、これから冬に向かっていく中で非常に維持が困難なステーションがあるが、そういうのが、どのような計画で、何年度に更新されるかというのがわからなければ対処の仕方もわからない。【港南コミセン】 ・ ごみステーションがかなり老朽化してきているが、これを順次直していくとか改修していく計画はあるのか。【港東コミセン】	調査結果については町内回覧などを使い、早急に報告いたします。 また、ご指摘の通りかなり老朽化、腐食が進んでいる状況にありますので、傷みの激しい所については計画的に変えていかなければならないと考えており、今後、どの程度の数のステーションを換えて行くかについては、調査の結果を踏まえて検討してまいりたいと思っております。
・ ごみのステーションの管理を当番でやっているが、冬期間に高齢者が当番になった時に雪で苦勞しており、町内会では、それを市にやってもらうことは難しいのではないかいという話になったが、その中の話で、地域に除雪する機械やダンプを貸してくれれば、そういうのを利用して町内会で借りて、ステーションの周りを年1、2回でも排雪してやれば高齢者も楽に雪を処理できるのではということで、そのような貸し出しがあれば利用したい。【港東コミセン】	ショベルなどについては地域で用意していただく形になっておりますが、ダンプと融雪機の貸し出しは行っております。 ショベルなどの金額を含め、チラシの形にして町内回覧でPRしておりますので、ぜひ活用をお願いいたします。また、除雪業者との協議の中で、ステーション周辺への配慮という部分も指導してまいりたいと思っております。
・ ペットボトルのキャップを一時、ワクチンの関係で集めていたことがあるが一般家庭なども含めキャップはかなり出ると思うので、キャップの回収がどうにかならないのか、ワクチンの関係はどうなっているのか、そういうリサイクルはしないのかをお聞きしたい。【幌糠コミセン】	今現在、ペットボトルのキャップをワクチンの関係で、どこかの団体が集めているのかを把握していないので、後程、お知らせをしたいと思います。 また、せっかくの資源でもあり、使えるような新たな取り組みがあるのかということで、色々と技術的に研究はしているようなので、北海道としても一時期、関わりを持っていたので、相談してみたいと思います。
・ 世帯数も少なくなっていることもあり、町内会館が使われなくなっているが、使わない時は水道料金を取らないことはできないか。【港南コミセン】	町内会の会員数も減っている中で、それぞれの町内会がどのような形で運営しているのか、また今回、町内会の防犯灯のLED化をさせていただいたので、それによって町内会の運営にどのような形で寄与できるのか、そういうこともつぶさに、担当の方として町内会の運営などについてのありようを聞かせていただいた中で、色々な角度から総合的に、市民の皆さん方の意見を参考にしながら判断をしてみたいと思っております。

【国民健康保険・健康づくりについて】

・ 国民健康保険税の限度額引き上げの件について、経過と内容を知りたい。【港南コミセン、港西コミセン】	国民健康保険税の限度額を4万円引き上げたいということで、例えば国保税を計算すると100万円を超える額になった場合でも限度額までにしないというものであり、この影響を受ける範囲は、例えば給与収入の場合は概ね700～750万円以上の方で、市内全体で25～26世帯が対象になるのではないかと考えております。 背景としては、国民健康保険事業が赤字の状況にあり、医療費を下げるという意味での医療費の適正化の対策など、色々対策も進めておりますが、少しでも適正化を図ってまいりたいという趣旨で、限度額を引き上げたいということでご理解をいただきたいと思っております。
---	--

・ 国保会計の決算で、19年度と20年度の決算額があまり変わっていないが、なぜこのような数字になるのかお聞きしたい。【港北コミセン】	市では、医療費の適正化に向けて特定健診受診のお願いですとか、健康を所管する担当と一緒に、市民の健康づくりを進める事業、また、国保税の収納率を少しでも上げるための方策についても進めているところでありますが、国民健康保険における医療費が少しずつ上がってきている現状にあります。 国の支援などによって毎年度、若干の赤字減少にはなっておりますが、今後とも、赤字額を少しでも解消するために、市民の皆さんと一緒に医療費の適正化などに取り組んでまいりたいと思っております。
・ これから高齢化社会になっていき、病院にかかる人が増えていくと思うが、そうなるとどんどん国保会計の赤字が増えて行ってしまうということなのか。【港北コミセン】	病気は、時間が遅くなればそれだけが重篤化、重い病気になってしまい、札幌や旭川での高度の医療が必要になり、また、治療費も多額になってしまいますので、できるだけ病気は早期発見して早期治療をしなければなりません。 ご指摘のとおり、高齢者が増えると医療費が高くなりますので、私としては健康の駅を作って、お年寄りも若い人もできるだけ病気にかからないような予防体制のために色々な健康セミナーをやったり、そして皆さん方に参加していただきメタボをできるだけ解消していただくという、予防医療を積極的にやって、何とか医療費の削減を図ろうということで、そういう部分での取り組みを進めているということで、ご理解いただきたいと思います。

【道路・公園などの公共施設について】

・ 見晴通は平成23年度までには大体の方向性とかが固まると聞いていたが、最近の説明では決定したものはまだ何もないとのことであった。 当初は市のお金がかからずにできると聞いており、道路の格付けなどもあるようだが、やるとなったら代替地とかものすごく時間がかかることだと思うし、2、3年くらいの間に格付けなどの方向性は決まるのか。【港東コミセン】	大震災の後に、上から避難してくる道路ということもありますが、上へ避難する道路の必要性や住民の方々の関心も高まっている現状にあります。 市としては、まずは道路の都市計画決定をきちんと取っていきたいと考えており、そのためには地域の方々の理解をしっかりといただいた上で、理解のもとで都市計画決定を取って、安心安全のための道路づくりを進めてまいりたいと考えております。 できれば、年度内にしっかりした方向性を出していきたいと考えてる中で、地域の皆さんにしっかりと説明をしてまいりたいと考えております。
・ 歩道はどこもデコボコだったり、車道と歩道の段差が大きかったり、幅が狭い、電柱が真ん中にあるなど、安心して歩ける歩道がほとんどない。また、留萌は坂道が多いが、特に冬になると高齢者は坂道を歩けるのかと感じる。 歩道についてもきっちりとした計画なり予算の取り方などをして、目途を立ててほしいと思う。【東部コミセン】	現時点では危険度の高い所、子どもたちの通学路などをどうしても優先してしまいますが、できるだけ歩行者の皆さん方にも満足していただけるような、また、ハンディを持った人たちも歩きやすい歩道というものを考えていかなければならないと思っております。 限られた予算の中で、担当もパトロールをして、私も歩きながら危険の部分を判断して進めてまいりますので、皆さんも気が付いた部分がありましたらお知らせをいただき、歩行者にも十分配慮をしたいと思っております。 また、冬期間についてはできるだけパトロールの回数を増やし、除雪している皆さん方から情報を得て、冬期間においても歩行者の人が安心して歩けるような道路について除雪する業者と、そして私どもも含めて協力して行っていきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思います。
・ 三沢地区で7月頃から伐採の関係で材木だとかを運んだり、林道の延長ということで砂利のダンプも入り、今までにないくらいの道路の状況なので、原因になっている林野庁に話をしてお願いをしたい。【幌糠コミセン】	間伐材を出そうという動きも再度ありますし、30年以上のトドマツも国有林、道有林にも多いということで、林道に再生骨材を引いても完備するくらいの方法はできないのか、その辺については意見交換してまいりたいと思っております。
・ 三沢地区の道路にも大きな穴が開いてしまっているので、対応をお願いしたい。【幌糠コミセン】	春先に砂利を引いたりしておりますが、担当にもう一度パトロールをさせて、現状の確認をさせてからどのような対応ができるのかを検討してまいりたいと思っております。

・ 元町の入り口の信号の所から海の方に抜ける元町13号通りは防塵処理しか行われていないので、冬期間はかなり凍上し、下水道のマンホールも除雪に引っ掛かるような状態なので、道路の5年計画にぜひ入れていただきたい。【港北コミセン】	道路の整備については緊急度を考慮しながら、5カ年計画で順次対応してまいりたいと思っておりますし、また、当然、状況に応じて計画を前倒しをしてやるかということも考えておりますので、まずは現場を確認させていただいて、5カ年に載せていくという作業から入らせていただくということでご理解をしていただきたいと思っております。 また、前回も話がありました川沿通りのことも皆さんかなり心配していると思いますが、今すぐということではありませんが、鋭意できることから行っており、開発建設部でもサイクリングロードということで川沿いも進めておりますので、街路灯のことなども考慮し、双方で協議しながら進めてまいりたいと考えておりますのでご理解ください。
・ 留萌港にフェリーを持ってきて道北の拠点港にという話を最近聞かないが、どういう状況になっているのか。【東部コミセン】	6年前までは試験的にフェリーを就航していただき、どういう物流形態の利用があるのかという試験航行などに取り組んできたという経過がありますが、物流体制から行くと難しいという判断を、私が就任してからしました。 留萌港の課題としては、北海道として調査した結果、現在の留萌の港の利活用の面から求められている小麦のサイロなどの建設について、色々と議論をしているところでありますので、かつてはフェリーの可能性ということで色々運動しましたが、現時点では難しいということでは方向転換をしているところでありますので、ご理解いただきたいと思っております。
・ 浜中運動公園の陸上競技場の検定が25年度にあるが、今、子どもたちが小学生から高校生まで練習をしていて、全道、全国に参加している選手がたくさんいる。 トラックのラインテープを部分的には陸上協会で行っているが、全面的には素人では引くことはできないので、なんとか地域貢献などで一度整備をしていただきたい。【幌糠コミセン】	要望として、このトラックのラインテープを来年度必要とするのか、検定のために必要とするのかということ、できれば来年度やってほしいということだと思っておりますが、所管では現状も認識しており、具体的には今答えられる内容ではありませんが、検定に向けての体制を検討しておりますので、後日連絡をしたいと思っております。
・ 浜中の砂飛のことで、階段護岸の部分で何らかの方法で止めてくれれば駐車場に砂が上がってくることもなく、民家の方にも砂が飛んでこないと思うが。【港南コミセン】	浜中海岸に限らず、風が非常に強いということで砂飛の件は毎年苦労しており、提案いただいたことも含め、今後も北海道の方とも協議をしながら対策に取り組んでまいりたいと考えております。
・ 東光小学校のグラウンドのトイレが未だに汲み取りで、今の子どもたちは汲み取りはおっかなくて使えないので、その辺りの対策も何か考えてほしい。また、グラウンドに降りて行く階段も子どもにとっては難しいようなので、手すりを付けてやるのかの対策を考えてやってほしい。【港東コミセン】	運動会などでの仮設トイレという認識をしておりましたので、日常の実態を調べ、また、急な斜面の階段も安全面なども含め学校と協議をして、必要な部分については対処してまいりたい。

【情報共有のありかたについて】

・ 懇談会に高齢の方が多く女性が一人もいないが何か対策がないものか。これからのまちづくりを話すのであれば30代、40代の人の参加がなければならないし、小学校の話があるのに女性がいないというのも、話す意味があるのかなと感じる。【港東コミセン】 ・ 人を集める努力をもう少しの方が、回覧だけでは参加する人は少ないと思うし、働いている人が6時半に参加というのは不可能に近いので、その辺りも考慮してもらいたい。【港東コミセン】 ・ 懇談会の参加者が少ないことが情けないと感じ、町内会長や総務部長にプッシュするという方法もあるし、PRが足りないと思うが。【共同福祉センター】 ・ 身近にしょっちゅう話していれば公債費率とかだんだんわかってくるが、ポツと来たときにはなんだそれはと難しさが先になってしまい、聞いても面白くない、そういう部分でももう少し簡単な形で、女性でも若い人でも来たときには、そういう話し方も必要なのかなと思う。【共同福祉センター】	今回の市政懇談会では一般の方を対象ということで、広報紙、町内会回覧などで、また、改めて電話で町内会にご案内をさせていただいております。また、時間帯についても色々な形で実施させていただいており、今回の懇談会でも最終日の街中では商店のみなさんを考慮して7時からの設定にするなど工夫もさせていただきました。 女性の方を集めるために保育を見てほしいとかの話も実際にありましたが、より多くの市民の皆さん方に出ていただけるような、魅力のある話があればいいかなと思っております。財政が厳しい中では魅力のある話がなかなか見出しにくい、そして市政懇談会を実施してみて、どこの地域も出席者が少なくなってきた状況です。 公債費率の説明や連結決算のことなども、もう少し広報の中でも点検して、女性でも子どもでも理解していただけるような方法というのを考えて、もう一回、市政懇談会のあり方についてどういう形がベストなのか内部でも相談したいと思っております。
---	--

・ 町内会の代表者と定期的に意見交換会を開くことになっているが、今年の計画はどうなっているのか。【東部コミセン】	市政懇談会を春と秋の2回行い、その他に新年の交流会ということで町内会との意見交換会を行っております。 市としては、多くの機会を設定させていただきながら、市政懇談会、意見交換会の他にも市長とのトークということで毎月1回、自由に市長室に来ていただきお話をいただく機会や、市の職員が地域に出向く出前トークなどの機会も設けておりますので、そのことを含めながら市民の皆さん、町内会の皆さんとの意見の交換する場を設けてまいりたいと考えております。
・ 町内会との意見交換は年1回ではなく、できれば何回かやっていただければと思います。【東部コミセン】	市政懇談会で地域の方が出ていただける時間帯に、どういう形で開催するのか、また、町内会の代表者の皆さんに来ていただいて説明をする、懇談をするという時期を、来年度に向けてどういう形がベストなのか、考えてまいりたいと思っております。 特に、今後は防災に関する基本的な方向性が、今年度中にある程度できるものについては示そうということであり、また、来年度は道のハザードマップなども出されますので、できるだけ地域とのコミュニケーションを図りたいと思っております。
・ 催事やイベントの案内が入ってくるが、関心を持ってもらうためには、まず町内会に関心を持ってもらわなければ難しいのではないかな。 町内会長などを集めた会合もあると聞いているが、そのような場をうまく使って、そこで相談されたことは即、町内会の人を下りるようなシステムにして、町内会で少しでも関心を持つ人を増やすというようなことに力を入れていただければと思う。【港西コミセン】	どんどん世の中のスピードが変わってきており、市民に気づいていただくための工夫というのは大事だと思っておりますので、みんながまちづくりのイベントや、また地域の集まりなどについて意識をしっかりとっていただくための広報のあり方、または回覧のあり方などについては、その時代、時代に合った方法を、私どもとしては工夫を積み重ねる努力は今後とも続けてまいりたいと思っております。

【その他】

・ 留萌はやはり水産加工場なので、加工場に対する支援をして雇用を確保しないと、これからの留萌の人口維持はできていけないのではないかな。【港南コミセン】	水産加工業の中で新たな食品、機能性の食品に対してのチャレンジができないのか、それぞれの水産加工会社でも新たな取り組みにもチャレンジしていますので、道や国の施策も活用できるものは活用していただきながら、水産加工品の販売と、そして新たな商品化に向けての支援策についても十分協議を重ねながら、水産加工のまちとしての方向性を見出してまいりたいと思っております。
・ 留萌としては水産業、特に加工の方は大切な一つの産業だと思っているが、数の子の話からすると、今はニシンが少し取れるとびっくりするような状況の中ではあまり期待できないのかなという感じがするので、できるものは育てるというような方法にも目を付けていかなければならないのかなと思うが。【港西コミセン】	地場で獲れている甘エビとか養殖しているホタテを、この地域で加工して販売できるような体制を、今後検討しなければならないと思っておりますし、養殖事業と水産加工業は結び付くという、これも重要なポイントだと思っておりますで、色々と研究してまいりたいと思っております。
・ 東雲町にJRの乗降所を作つてはということを聞いたことがあるが、病院や学校も近くていいのではないかなと思う。【港南コミセン】	JRでの距離的な制約もあり、具体的に相談したこともありますが大変難しいのが実態でした。 より市立病院の利用をしやすいようにということだと思いますので、その部分についてはバス路線等を含めて、内部で再度検討をしてみたいと思います。
・ 山の方に住んでいる関係で、毎年カメムシやテントウムシがすごく、いくら殺虫剤をかけても手に負えないような状況が今時期に続くので、何とか林野庁に話をして、殺虫剤なりで山の防除対策をできないものかな。 旭川の方には虫を寄せ付けない対処をする業者があるが、自宅と納屋をやると12から13万円とほどと金額が高く、林野庁にそのような業者を依頼してもらったかの方法で、何とかしてもらいたい。【幌糠コミセン】	春先も虫が異常発生しており、異常気象とあわせて生態系の問題なのか、市内の中からも相談があり、道の方にも相談をしてみました。現時点では少しずつ殺虫剤で防除するしかないのかという話でありました。 山の木自体に対して散布する方法は難しいと思いますので、住宅地の中で防除する場合に何らかの方法があるのか、山全体で、他の地域でこのような状況はないのか、営林署の方と話をしてみようと思います。

・ 住民票を取りに行ったが、自分は車の免許もなく写真が付いた身分証明できるものがないため、住民票を取るために必要なものが非常にわからなく、国の方でルールが変わったのでということであつたが、そうであればなぜ、事前に市民にわかりやすくお知らせをしないのか。【港東コミセン】

職員の対応が悪かったと認識し、それについてはお詫び申し上げます。
改正のお知らせについては平成20年の広報5月号にお知らせとして掲載はしていましたが、今後も手続きに必要な物などをわかりやすく、市民の皆さんにお知らせをしてまいりたいと思います。